

植田電機株式会社

環境経営レポート

[2024年度]

活動期間: 2024年8月～2025年7月

発行 2025年 10月 31日
改訂 2026年 4月 22日
植田電機株式会社
代表取締役 吉田 通

目 次

1.	事業活動の概要	3 頁
2.	実施体制	4 頁
3.	環境経営方針	5 頁
4.	環境経営目標の達成度評価表	6 頁
5.	環境経営計画・実施結果	7 頁
6.	環境目標の策定	8 頁
7.	環境経営計画	9 頁
8.	環境関連法規取纏表	10～11 頁
9.	代表者による全体の評価と見直し	12 頁

1. 事業活動の概要

(1) 名称及び代表者名

植田電機株式会社

代表取締役 吉田 通

(2) 所在地

本 社	福島県いわき市内郷高坂町四方木田125番2	認証登録
資材倉庫 :	福島県いわき市錦町町西53	認証登録
相双営業所	福島県相馬市塚ノ町2-3-10-101	認証登録
白河営業所	福島県白河市新白河二丁目110 1F	認証登録
会津営業所	福島県会津若松市八角町1番19号	認証登録
福島営業所	福島県福島市飯坂町平野字北原5-23	認証登録
郡山営業所	福島県郡山市安積町日出山3-292-3-1	認証登録

(3) 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先

責任者 : 五十嵐 功一 TEL:0246-27-9000

担当者 : 矢吹 益夫 TEL:0246-27-9000

(4) 事業内容

建設業(電気工事業)、電機機器販売業

(5) 事業の規模

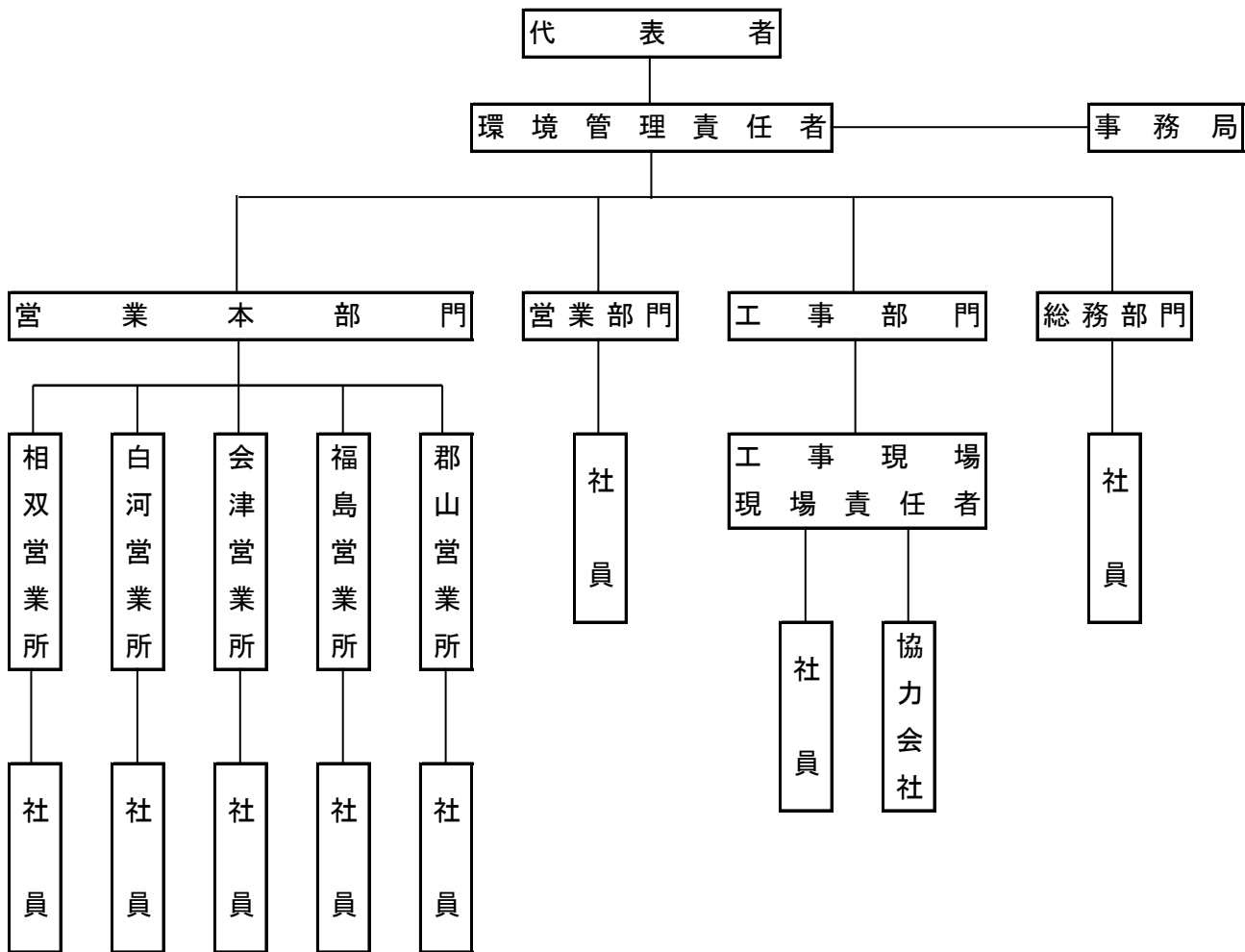
売上高 : 19.4億円(2024年度)

	本社	資材倉庫	相双営業所	白河営業所	会津営業所	福島営業所	郡山営業所
従業員	43名	無人	2名	3名	3名	3名	3名
延床面積	1,323.71㎡	99㎡	53㎡	103.7㎡	66.2	82.64㎡	41.58㎡

(6) 事業期間

毎年8月1日～7月31日

実施体制



組織の構成員	役割・責任・権限
代表者	①環境経営方針を定める。 ②環境管理責任者を任命すると共に、環境経営組織、役割、責任を定める。 ③必要な経営資源を提供する。 ④活動の実績を環境管理責任者に求め、見直しを行い、必要な指示を行う。
環境管理責任者	①環境経営システムを構築し、運用の責任と権限を有する。 ②運用状況の全体について把握し、代表者に報告する。
事務局	①環境管理責任者を補佐し、環境経営システムを円滑に運用する。
部門長	①環境経営方針、環境経営目標、環境経営計画の自部門に関連する活動及びその他環境管理責任者からの指示事項についても実践する。
社員	①部門長から指示のあった事項について実践する。

3.環境経営方針

様式:2

植田電機株式会社 環境経営方針

<基本理念>

自然環境の破壊が急激に進み、人類の生存そのものが脅かされる事態が顕在化し、環境に多大な負荷をかけない、循環型社会の構築が人類共通の重要課題となりました。当社は事務所、そして各電気工事現場の事業活動における環境負荷の低減を推進し、地球環境保全を目指し、社員及び協力会社の理解と協力のもと、環境改善の取組みを自主的、積極的、継続的に進めてまいります。

<行動指針>

1. 具体的に次のことに取り組みます。

- ①電力・自動車燃料の消費に伴う二酸化炭素排出量の削減
- ②廃棄物の3R(減量“reduce”、再使用“reuse”、再生利用“recycle”)の推進
- ③水使用量の削減

これらについて環境目標・活動計画を定め、定期的に見直しを行い、継続的な改善に努めます。

2. その他、環境関連法規制を遵守します。

改定日:2020年8月1日

制定日:2010年8月1日

代表取締役

吉田 通

4.環境経営目標の達成度評価表

承認	確認	作成
吉田	五十嵐	矢吹

総量基準と原単位基準の比較

作成日:2025年10月31日

負荷量	項目	基準年度 (2018年度) 実績(a)	2024年度 削減率 3.0%削減	2024年度 目標(b)	対象年度 (2024年度) 実績(c)	削減率基準 年基準(%) (a-c)/a×100	達成率 目標基準 (%) b/c×100	評価	基準年	
									建設工事完成高 2018(億円/年)	対象年 建設工事完成高 2024(億円/年)
取扱量	売上高(億円/年)	21.78			19.41				21.78	19.41
CO2全体	CO2(kgCO2/年)	154,609	0.030	149,970.7	148,521	3.9	101.0	◎	建設現場を設置しての工事が少なかった事が全体のCO2排出量に影響したと為と考えられる。	
	原単位(kgCO2/億円)	7,098.7	0.030	6,885.7	7,652	-7.8	90.0	○		
建設現場	建設現場(kgCO2/年)	6,550	0.030	6,354	18,939	-189.1	33.5	×	現場での軽油使用量が増加した為、CO2排出量も増加した。	
	原単位(kgCO2/億円)	301	0.030	292	976	-224.5	29.9	×		
5営業所合計	5営業所合計(kgCO2/年)	32,660	0.030	31,680	41,306	-26.5	76.7	△	ガソリン使用量が増加した事がCO2使用量に影響している。	
	原単位(kgCO2/億円)	1,500	0.030	1,455	2,128	-41.9	68.4	×		
本社	本社(kgCO2/年)	115,399	0.030	111,937	88,277	23.5	126.8	◎	電力の使用量は目標値未達だったがガソリン使用量が目標達成できたので結果的にCO2排出量は目標を達成する事ができた。	
	原単位(kgCO2/億円)	5,298	0.030	5,139	4,548	14.2	113.0	◎		
購入電力 建設現場 (kWh)	購入電力(kWh/億円)	12,524	0.030	12,148	11,350	9.4	107.0	◎	現場事務所を設置しての工事が少なかったと為と考えられる。	
	原単位(kWh/億円)	575	0.030	558	585	-1.7	95.4	○		
購入電力 5営業所合計 (kWh)	購入電力(kWh/億円)	21,161	0.030	20,526	18,093	14.5	113.4	◎	エアコンの設定温度の管理が反映された結果良好な数値となった。	
	原単位(kWh/億円)	972	0.030	942	932	4.1	101.1	◎		
購入電力 本社(kWh)	購入電力(kWh/億円)	45,819	0.030	44,444	59,300	-29.4	74.9	△	4月から7月は、本社の旧社屋及び新社屋の消費電力量が含算され増加した。又、新社屋の廊下・階段等はセンサーによる自動照明の影響で数値に影響している事も推定できる。	
	原単位(kWh/億円)	2,104	0.030	2,041	3,055	-45.2	66.8	×		
購入電力 全体(kWh)	購入電力(kWh/億円)	79,504	0.030	77,119	88,743	-11.6	86.9	△	現場事務所を設置しての工事が少なかった事が全体に影響していると考えられる。	
	原単位(kWh/億円)	3,650	0.030	3,541	4,572	-25.2	77.4	△		
ガソリン 5営業所合計 (L)	ガソリン(L/年)	8,528.87	0.030	8,273	13,610	-59.6	60.8	×	営業活動及び遠方の工事現場の立会等が増加したと為と考えられる。	
	原単位(L/億円)	391.59	0.030	380	701	-79.1	54.2	×		
ガソリン 本社(L)	ガソリン(L/年)	32,194.55	0.030	31,229	27,559	14.4	113.3	◎	効率的な運転・不要なアイドリングの禁止の効果があつたと考えられる。	
	原単位(L/億円)	1,478.17	0.030	1,434	1,420	3.9	101.0	◎		
ガソリン 全体(L)	ガソリン(L/年)	40,723	0.030	39,501	41,169	-1.1	96.0	○	5営業所のガソリン使用量が増加したが、本社のガソリン使用量が減少した為、結果として目標値に近い達成率になった。	
	原単位(L/億円)	1,869.74	0.030	1,814	2,121	-13.4	85.5	△		
一般廃棄物 5営業所合計 (t)	5営業所合計(t/年)	0.97	0.030	0.94	1.01	-4.0	93.3	○	ほぼ目標値に近い数値になった。	
	原単位(t/億円)	0.04	0.030	0.04	0.05	-25.0	77.6	△		
一般廃棄物 本社(t)	本社(t/年)	4.61	0.030	4.47	8.73	-89.5	51.2	×	本社社屋移転に伴い、廃棄処分となった書類・段ボール等の廃棄量が多く発生した為。	
	原単位(t/億円)	0.21	0.030	0	0.45	-114.3	45.3	×		
一般廃棄物 合計	本社(t/年)	5.58	0.030	5.41	9.74	-74.6	55.5	×	紙くず・段ボール等の廃棄量が多く発生した為。	
	原単位(t/億円)	0.26	0.030	0.25	0.50	-92.3	50.4	×		
産業廃棄物 建設現場(t)	建設現場(t/年)	42.87	0.030	42	88.34	-106.1	47.1	×	がれき類・コンクリート・金属くず及び油入トランスを産廃処分時の廃油処理量が多く発生した工事を行った為。	
	原単位(t/億円)	1.97	0.030	1.91	4.55	-131.0	42.0	×		
廃棄物 本社(t)	本社(t/年)	48.61	0.030	47.15	98.08	-101.8	48.1	×	建設現場での廃棄物排出量が多かった事と本社事務所移転に伴う目標未達成の要因になったと考えられる。	
	原単位(t/億円)	2.23	0.030	2.16	5.05	-126.5	42.8	×		
水使用量 建設現場 (m3)	建設現場(t/年)	0.00	0.030	0.00	0.00				現場事務所での水の使用はなかった。	
	原単位(t/億円)	0.00	0.030	0.00	0.00					
水使用量 5営業所合計 (m3)	5営業所合計(t/年)	86.00	0.030	83.42	159.30	-85.2	52.4	×	相双営業所でトイレの給水タンクの水漏れが原因。漏水修理済。	
	原単位(t/億円)	3.95	0.030	3.83	8.21	-107.8	46.7	×		
水使用量 本社(m3)	本社(t/年)	198.50	0.030	192.55	234.00	-17.9	82.3	△	新社屋のトイレは自動洗浄装置(ある一定時間ごとに使用してなくても水が流れるシステム)や自動給茶機(水道管と直結)を使用している事が使用量に影響していると考えられる。	
	原単位(t/億円)	9.11	0.030	8.84	12.06	-32.4	73.3	△		
水使用量 全体(m3)	総使用量(m3/年)	284.5	0.030	276.0	393.30	-38.2	70.2	△	漏水の確認や目標使用量の見直しが必要と思われる。	
	原単位(m3/億円)	13.06	0.030	12.67	20.26	-55.1	62.5	×		

評価基準	達成率100%以上	◎
	達成率90%以上から100%未満	○
	達成率70%以上から90%未満	△
	達成率70%未満	×

5. 環境経営計画・実施結果

承認	作成
五十嵐	矢吹

対象年度：2024年度

対象期間：2024年8月1日～2025年7月31日

作成日：2025年10月31日

環境経営目標	環境経営計画	取組の具体的内容	実施時期	実施結果	
	何を	どのように	いつまでに		
二酸化炭素排出量の削減	電力使用の削減	不要照明の消灯	通年	◎	
		照明器具の改善(蛍光灯をLED灯に更新)	LED化済	◎	
		OA機器・家電製品の待機電力の削減	通年	◎	
		冷暖房の温度管理(冬25℃、夏27℃)	通年	○	
		冷暖房機器フィルター清掃	12月	○	
		冷暖房の上下温度差解消(天井ファンの取付け)	対応済	-	
		各種設備の効率的な運転(作業手順の見直し)	通年	◎	
	エコドライブの実施	エコドライブ教育研修に参加			-
		アイドリング時間の削減	通年	○	
		急発進、急加速はしない	通年	◎	
タイヤの空気圧を定期的に調整する		3ヶ月毎	◎		
燃費管理の実践(走行距離数/燃料消費量)		毎月	◎		
廃棄物の削減	廃棄物分別の徹底	分別の徹底	通年	◎	
		分別方法を判りやすく掲示	対応済	◎	
		廃棄物置場の整理	通年	◎	
	紙使用の削減	コピー数量の削減	通年	○	
		OA紙の資源化	通年	○	
		ペーパーレス化の推進	通年	○	
の総削減水量	水道使用量の削減	洗車時の自動水栓弁の取り付け		-	
		手洗い時の自動水栓の設置	対応済	◎	
		循環水システムの工夫		-	
地下水の適正利用	利用目的(消雪・散水)に応じた効率的な使用		-		
使用削減物の質	化学物質使用量の削減	化学物質を使用している物品のリストアップ		-	
		化学物質使用量の少ない物品の購入		-	
		化学物質の適正管理		-	
本業の環境配慮	再資源化率向上	月単位再資源化率の集計		-	
		エコケーブル使用率	通年	△	
	燃費向上	収集・運搬車両の運行距離(km)と給油量(L)確認	月1回集計	◎	
地域貢献活動	地域・社会貢献活動	地域清掃活動への参加	3回/年	◎	
		洪水対策等緊急事態への対応(BCP)	手順作成	◎	
		地域の環境イベントへの積極的参加	2回/年	◎	

6. 環境目標の策定














承認	確認	作成
吉田	五十嵐	矢吹

(1). 中長期目標 2025年8月1日～2027年7月31日

作成日:2025年 10月31日

No	環境経営目標項目	基準年	削減率等	中長期目標（3年）		
		2024年度実績 結 (R6.8～R7.7)	年率(%) 年件数(件)	2025年度目標 (R6.8～R7.7)	2026年度目標 (R7.8～R8.7)	2027年度目標 (R8.8～R9.7)
1	二酸化炭素排出量	148521.24	0.50%	147778.63	147036.03	146293.42
2	廃棄物排出量	48.01	0.50%	47.05	46.81	46.58
3	水使用量	393.30	0.50%	351.80	350.04	348.28
4	化学物質使用量					
5	グリーン購入					
6	事業活動の環境配慮項目					

(2). 単年度目標 2025年度(2025年8月1日～2026年7月31日)

No	環境目標項目	基準年(2024年度実績) (R6.8～7.7)	削減率 (%、件数)	2025年度 環境経営目標 (R7.8～7.8)	
1	二酸化炭素排出量	148521.24	0.5	147778.63	
	 11 住み続けられるまちづくりを  13 気候変動に具体的な対策を (1) 電力排出量	36589.28	0.5	36406.33	
	(2) 灯油排出量	2203.65	0.5	2192.63	
	(3) LPG排出量				
	(4) ガソリン排出量	95511.04	0.5	95033.48	
	 15 陸の豊かさも守ろう (5) 軽油排出量	14217.27	0.5	14146.18	
2	廃棄物排出量  12 つくる責任 つかう責任	一般廃棄物	9.71	0.5	5.50
		産業廃棄物	88.29	0.5	41.55
3	水使用量  6 安全な水とトイレを世界中に  14 海の豊かさを守ろう  15 陸の豊かさも守ろう	393.30		351.80	
4	化学物質使用量  9 産業とイノベーションに力を集中させよう  12 つくる責任 つかう責任  13 気候変動に具体的な対策を				
5	グリーン購入の推進  12 つくる責任 つかう責任  14 海の豊かさを守ろう  15 陸の豊かさも守ろう				
6	事業活動自体の環境配慮項目	エコーブル使用率	5.3%		

※二酸化炭素排出係数：0.416 t-CO2/kWh((株)東北電力R7.9 公表値(基礎排出係数))

※グリーン購入の推進については、数字をカウントしない。

※事業活動自体の環境配慮項目のエコーブル使用率の向上については、使用率のみ記載し、目標値は設定しない。

※水使用量の経営目標については、過去の数値を基に目標値を設定した。(79期の実績については、漏水が発生したので基準年実績とはしなかった。)

※廃棄物の経営目標については、2021年度実績基準年(R3/8～R4/7)とした。

(3) 本年度自主設定環境経営目標

環境経営目標項目	取組期間 (R4.8～R5.7) 目標値	中長期目標（3年）
5Sの励行	作業効率アップ	不要品の整理・処分
ムリムダムラの削減	運搬中のムダ	待ち時間のムダ解消
地域貢献活動協力	清掃・イベント活動への参加	年2回の実施

7. 環境経営計画

承認	作成
五十嵐	矢吹

対象年度：2025年度

対象期間：2025年8月1日～2026年7月31日

作成日：2025年10月31日

環境経営 目標	環境経営計画	取組の具体的内容	実施時期	実施結果	
	何を	どのように	いつまでに		
二酸化炭素排出量の削減	電力使用の削減	不要照明の消灯	通年		
		OA機器・家電製品の待機電力の削減	通年		
		冷暖房の温度管理(冬25℃、夏27℃)	通年		
		冷暖房機器フィルター清掃	12月		
		各種設備の効率的な運転(作業手順の見直し)	通年		
	エコドライブの実施	エコドライブ教育研修に参加			
		アイドリング時間の削減	通年		
		急発進、急加速はしない	通年		
		タイヤの空気圧を定期的に調整する	3ヶ月毎		
		燃費管理の実践(走行距離数/燃料消費量)	毎月		
廃棄物の削減	廃棄物分別の徹底	分別の徹底	通年		
		分別方法を判りやすく掲示	対応済		
		廃棄物置場の整理	通年		
	紙使用の削減	コピー数量の削減	通年		
		OA紙の資源化	通年		
		ペーパーレス化の推進	通年		
の総削減水量	水道使用量の削減	洗車時の自動水栓弁の取り付け			
		手洗い時の自動水栓の設置	対応済		
		循環水システムの工夫			
本業の環境配慮	再資源化率向上	月単位再資源化率の集計			
		エコケーブル使用率	通年		
	燃費向上	収集・運搬車両の運行距離(km)と給油量(L)確認	月1回集計		
地域・社会貢献活動	地域・社会貢献活動	地域清掃活動への参加	3回/年		
		洪水対策等緊急事態への対応(BCP)	手順作成		
		地域の環境イベントへの積極的参加	2回/年		

8.環境関連法規取纏表

承認者 吉田 通 令和7年 8月20日

記入者 矢吹 益夫 令和7年 8月20日

法律等の名称	当社に適用される要求事項	当社の対応	評価結果 (遵法の場合も根拠を明示)	評価年月日	適否 ○印
電気事業法	・登録電気工事業者届出	福島県知事届出 第46103号	届出票確認(昭和46年3月4日取得) 登録変更届日(令和2年7月3日)	2025/8/20	○ <input checked="" type="radio"/> 否
建設業法	・特定建設業・・・電気工事業	特-2第8255号	届出票確認(令和2年9月11日取得)	2025/8/20	○ <input checked="" type="radio"/> 否
	・一般建設業・・・電気通信工事業、管工事業、 機械器具設置工事業、水道施設工事業、 消防施設工事業	般-2第8255号	届出票確認(令和2年9月11日取得)	2025/8/20	○ <input checked="" type="radio"/> 否
廃棄物処理法	・委託契約書の締結 ・マニフェストの発行管理 ・マニフェストA,B2,D,E票の5年間の保存 ・マニフェストの県への交付状況の報告		契約書を確認 マニフェストを受領した日付を記入する 5年間保管していることを確認 知事届出日 令和4年5月20日	2025/8/20	○ <input checked="" type="radio"/> 否
建設リサイクル法	・マニフェストの発行管理 ・工事の時期及び工程等届出 ・発注者への品質管理の届出 ・再資源化報告書 ・安全管理に関する報告 ・発注者への完了報告		該当する工事はなかった。	2025/8/20	○ <input checked="" type="radio"/> 否
いわき市環境基本計画	・環境の保全・美化促進に努める		事務所周辺及び社員駐車場の清掃活動を行なった。	2025/8/20	○ <input checked="" type="radio"/> 否
下水道法	・有害物質の排出水の禁止		有害物質の排出水は無かった。	2025/8/20	○ <input checked="" type="radio"/> 否
循環型社会形成推進 基本法	・廃棄物等の発生抑制、循環利用、適正処分 循環的な利用の促進	廃棄物の3Rの推進	3R推進によってすこしだが実行できた。	2025/8/20	○ <input checked="" type="radio"/> 否

法律等の名称	当社に適用される要求事項	当社の対応	評価結果 (遵法の場合も根拠を明示)	評価年月日	適否 ○印
省エネ法	・エネルギー使用の合理化	二酸化炭素排出量の削減	朝礼・回覧などで呼びかけ実施されている。	2025/8/20	○適 否
家電リサイクル法	・対象機器廃棄物の適正処理		適正な処理をした。	2025/8/20	○適 否
白河市環境基本条例	公害防止、廃棄物の適正処理、環境への負荷を低減させる	廃棄物処理法、建設リサイクル法、グリーン購入法等を遵守	回覧と口頭で呼びかけ周知徹底した。	2025/8/20	○適 否
会津若松市基本条例	公害防止、廃棄物の適正処理、環境への負荷を低減させる	廃棄物処理法、建設リサイクル法、グリーン購入法等を遵守	回覧と口頭で呼びかけ周知徹底した。	2025/8/20	○適 否
相馬市環境基本条例	公害防止、廃棄物の適正処理、再生資源その他の環境への負荷の低減につながる原材料、役務等の積極的利用	廃棄物処理法、建設リサイクル法、グリーン購入法等を遵守	回覧と口頭で呼びかけ周知徹底した。	2025/8/20	○適 否
フロン排出抑制法	全ての第一種(業務用の冷凍空調機)について、3か月に一回以上の簡易点検義務	3か月に一回、簡易点検を実施する。	1.該当機種-本社:12台、会津(営):1台及び相双(営):1台の簡易点検記録簿を確認	2025/8/20	○適 否
福島市環境基本条例	公害防止、廃棄物の抑制及び適正処理、再生資源その他の環境への負荷の低減につながる原材料、役務等の積極的利用	廃棄物処理法、建設リサイクル法、グリーン購入法等を遵守	回覧と口頭で呼びかけ周知徹底した。	2025/8/20	○適 否
郡山市環境基本条例	公害防止、廃棄物の適正処理、環境への負荷を低減させる	廃棄物処理法、建設リサイクル法、グリーン購入法等を遵守	回覧と口頭で呼びかけ周知徹底した。	2025/8/20	○適 否
					適 否
					適 否

*環境関連法規等の違反における関係当局からの指摘及び是正勧告等は過去3年間ありませんでした。

9. 代表者による全体の評価と見直し

様式:13

承認者 吉田 通 改訂日 平成24年 4月 2日

作成者 五十嵐 功一 記入日 令和 7年10月31日

評価の項目	環境管理責任者は各項目毎の問題点等を代表者へ報告する。
①環境経営目標の達成状況、環境経営計画の実施及び運用結果 (確認文書名)環境経営目標設定表、環境経営計画・実績表	電力使用量は経営目標を達成する事ができたが、ガソリン使用量、廃棄物排出量及び水道使用量は未達だった。
②環境関連法規等の遵守状況 (確認文書名)環境関連法取纏表	法令等は遵守されていた。
③問題点の是正処置及び予防処置の結果 (確認文書名)不適合・是正処置報告書	有り。 廃棄物排出量(2/10付)及び水使用量(5/20付)でそれぞれ不適合報告書を発行した。
④外部からの環境に関する苦情や要望等 (確認文書名)環境情報受付台帳、環境情報対応記録	無し。
⑤その他の問題点 (確認文書名)環境経営方針、及び運用組織図に関するもの	

社長から環境管理責任者への指示事項	環境経営方針	変更の必要性 有 <input type="radio"/> 無 <input checked="" type="radio"/>
		指示事項
	環境経営目標	変更の必要性 <input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無
		指示事項 6月に新社屋に移転したが旧社屋に比べて床面積が増えたことで電力、水の使用量が変わったはずなので、その使用実績を見て目標値を検討する事。 本社移転があったのでダンボール等の廃棄物が多く発生したのは、やむを得ない。
	環境経営計画	変更の必要性 <input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無
		指示事項 以前として本社事務室(2階)の設定温度が守られていない。快適温度ではなく、定められた計画温度にするよう管理責任者や部門長が意識をもって指導する事。 夏・冬に関わらず長時間車のアイドリング禁止。3分以内とする。
	環境経営システムのその他	変更の必要性 有 <input type="radio"/> 無 <input checked="" type="radio"/>
		指示事項